

## ～下記の研究を行います～

# 『大腸癌肝転移における後方視的予後解析』

【研究の主宰機関】大阪大学消化器外科共同研究会

【研究代表者】大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学 教授 土岐 祐一郎、江口英利

【研究の目的】大腸癌肝転移のうち肝切除を施行した患者さんにおいて、無再発生存期間および全生存期間に関する予後因子の同定を行うことを目的としています。

【研究の期間】研究許可日～2023年3月31日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2015年1月1日から2016年12月31日までに、当院にて大腸癌肝転移に対して肝切除術を受けられた方

●利用する試料・情報の種類

試料：なし

情報：生年月日、性別、大腸癌及び肝転移の診断日、手術日、手術方法、検査結果等

●外部への情報等の提供

データセンター（大阪大学）へのデータの提供は、電子媒体（エクセル）で、特定の関係者以外がアクセスできない状態で電子的配信を行います。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

●研究組織

研究を実施する全ての共同研究機関

大阪大学消化器外科共同研究会に参加している施設

大阪大学医学部附属病院、JCHO 大阪病院、JCHO 星ヶ丘医療センター、第二大阪警察病院、医誠会病院、大阪警察病院、大阪中央病院、JCHO 大阪みなと中央病院、大阪労災病院、大手前病院、加納総合病院、川崎病院、河内総合病院、関西ろうさい病院、紀南病院、近畿大学医学部奈良病院、近畿中央病院、国立病院機構大阪医療センター、済生会千里病院、彩都友誼会病院、四天王寺病院、市立芦屋病院、市立池田病院、市立伊丹病院、市立貝塚病院、市立川西病院、堺市立総合医療センター、市立吹田市民病院、市立豊中病院、清恵会病院、田仲北野田病院、多根総合病院、豊中緑ヶ丘病院、済生会富田林病院、西宮市立中央病院、日本生命病院、阪南中央病院、阪和住吉総合病院、市立東大阪医療センター、東宝塚さとう病院、兵庫県立西宮病院、大阪急性期・総合医療センター、大阪国際がんセンター、ベルランド総合病院、箕面市立病院、守口敬仁会病院、八尾市立病院、りんくう総合医療センター、大阪はびきの医療センター

## 【研究の資金源】

本研究に関わる費用は、大阪大学消化器外科共同研究会の費用によってまかなわれます。

## 【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI (シオアイ) : Conflict of Interest) とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反についてはそれぞれの施設の利益相反審査委員会で審査され、適切に管理されています。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎情報等が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者

国立病院機構大阪医療センター

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14

TEL (06) 6942-1331 (代)

下部消化管外科・科長 加藤健志

研究代表者

大阪大学大学院医学系研究科

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2-E2

TEL : 06-6879-3251

消化器外科学 教授 土岐 祐一郎、江口英利